

Colin Williams

New York Philharmonic



© Chris Lee

YUTAMAKI

International Soloist



© Patricio Soto

# Special Concert 2024

## PROGRAM

ホルスト：組曲「惑星」より 木星\*

Gustav Holst: Jupiter from Suite "Planets"

フェルヘルスト：悪魔のワルツ、天使のタンゴ

Steven Verhelst: Devil's Waltz, Angel's Tango

ヒダス：フロリダ協奏曲

Frígyes Hidas: Florida Concerto

モヤ：協奏的幻想曲

Ricardo Mollá: Fantasia Concertante

高嶋圭子：「春の呼ぶ声を聞く」より桜・三春滝桜に寄せて

Keiko Takashima: Sakura from "Hear the Spring Calling"

福田洋介：さくらのうた

Yosuke Fukuda: Sakura Song

シュニーダー：トロンボーン四重奏曲

Daniel Schnyder: Trombone Quartet

ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」より

バーバヤーガの小屋、キエフの大門\* \*西下航平による新編曲

Modest Mussorgsky: From Suite "Pictures at an Exhibition"



Hiroyuki Kurogane  
NHK Symphony Orchestra

Ayano Jo  
Piano  
Tokyo University of Arts

Takumi Shinozaki  
Yomiuri Nippon  
Symphony Orchestra

© Masataka Nakano

## Trio Sync.

5/7

火  
Tuesday

兵庫 伊丹アイフォニックホール

兵庫県伊丹市宮ノ前1丁目3-30  
阪急伊丹駅徒歩4分・JR伊丹駅徒歩7分

18:30 開場 | 19:00 開演

5/9

木  
Thursday

東京 スクエア荏原ひらつかホール

東京都品川区荏原4丁目5-28  
武蔵小山駅・戸越銀座駅・荏原中延駅・戸越駅より徒歩約10~12分

18:30 開場 | 19:00 開演

同時開催 静岡 | 5月4日(土)

札の辻クロスホール | 14:30 開場 | 15:00 開演

チケット [全席自由] 一般 ¥5,000 | 学生 ¥4,000 | 当日 ¥500 円増

チケット取扱い & お問い合わせ

玉木優ウェブ: [www.yutamaki.com/recital/](http://www.yutamaki.com/recital/) [recital@yutamaki.com](mailto:recital@yutamaki.com)

ジョイプラス: 03-5480-2468 [tb@joybrass.co.jp](mailto:tb@joybrass.co.jp)

\*東京公演のみ | 管楽器専門店ダク: 03-3361-2211 / ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京: 03-5909-1771

\*兵庫公演のみ | ドルチェ楽器 大阪店: 06-6377-1117 / 三木楽器 Low Brass Center: 06-6343-1360



東京  
公演



兵庫  
公演



昨年に引き続き、日本が大大大好きなコリン・ウィリアムズ氏がニューヨークより再来日します。今回は、玉木優氏とのデュオに加え、日本が世界に誇るバストロンボーン+ピアノ三重奏団であるトリオシンクとのスペシャルな共演が実現します。今回だけの共演、どのような音楽世界が繰り広げられるのか!? なお、ウィリアムズ氏、玉木氏、篠崎氏、3名の共演は、2009年夏、長野県松本市、小澤征爾氏指揮のサイトウ・キネン・オーケストラ「ブラームス：交響曲第二番」公演以来となります。2024年5月、忘れられないスペシャルな二夜になること間違いなしです!

## コリン・ウィリアムズ

テナートロンボーン | ニューヨークフィルハーモニック副首席奏者

2014年よりニューヨークフィルハーモニックにて副首席トロンボーン奏者を務める。前職はアトランタ響にて12年、サンアントニオ響にて3年、それぞれ首席奏者を務め、これまでにシカゴ響、ボストン響、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、ナショナル響、ヒューストン響などにたびたび客演してきた。アクティブな演奏家と教育者の側面だけでなく、音楽家の健康・ウェルネスの提唱者でもある。アトランタ響時代に、唇の筋肉の激しい損傷に見舞われ、医師より口輪筋の断裂と診断を受ける。この負傷により約一年間のオーケストラ休職と、その後数年に渡る継続する痛みに見舞われた。この負傷と回復、メンタルヘルスの道のりが、今日の演奏と指導へのユニークなアプローチへと繋がっている。舞台への帰還の決意とともに、2018年にデビューアルバム“Ash”をリリース。アトランタ響時代、当時の同僚たちと設立した“アトランタ・トロンボーン・プロジェクト”の一環として、アルバム“Roadwork”をリリース。このプロジェクトはのちに“サウスウェスト・トロンボーン・シンポジウム(STS)”として、毎年数百人が参加する国際的な音楽祭・ワークショップとして発展。ソリストとして、アトランタ響、米軍軍楽隊“Pershing's Own”、アメリカンミリタリーアカデミーバンド、ジュリアードオーケストラと協奏曲と共演し、アメリカントロンボーンワークショップやインターナショナルトロンボーンフェスティバルにもデビューを飾る。ミネソタ響のダグラス・ライト、ニューヨークフィルのデビッド・フィンレイソン、同じくニューヨークフィルのジョセフ・アレッシの各氏に師事。

## 玉木 優

テナートロンボーン | インターナショナル・ソリスト

世界各地を舞台に活動を続けるソロトロンボーン奏者。兵庫県芦屋市出身。兵庫県立西宮高校音楽科、京都市立芸術大学を経て渡米。ミシシッピ響、ミシシッピ大講師、デューク大学大学院助手を務めたのち帰国。小澤征爾監督の東京のオペラの森、サイトウキネンオーケストラに参加。東京佼成ウインドオーケストラに在籍後、文化庁海外研修制度により渡欧。スイス・ベルン芸大を首席で修了後、南デンマークフィルハーモニー管に入団。2018年1月、日米欧において15年間務めたオーケストラ奏者のキャリアから、ソリストに転身。ソロリサイタル、協奏曲共演、マスタークラス指導を3つの柱に、世界各地で活動を展開。S.E.Shires、willie's Custom Brass、公式アーティスト。鳥根ふくたまたフェスティバル音楽監督。イアン・バウスフィールド、ピーター・サリヴァン、呉信一、山下浩生の各氏に師事。2024年4月より、大阪芸術大学客員教授に就任。現在デンマーク在住。活動のハイライトとして、日本主要都市でのリサイタルツアー、ジュリアード音楽院ならびに30以上の音楽機関を巡る全米ツアー、日本センチュリー響、日本フィル、東京シティフィル、東京ニューシティ管、米軍軍楽隊“Pershing's Own”、オオサカシオン、東京佼成、スーパーストリングスコーペ、ファウンテンシティプラスなどと協奏曲共演、インターナショナルトロンボーンフェスティバルにてソロリサイタルと協奏曲演奏、ジョセフ・アレッシ、イアン・バウスフィールド、シュテファン・シュルツ、コリン・ウィリアムズなど、世界第一線奏者らとのデュオ共演などが挙げられる。また、ソロトロンボーンの音楽表現探究のため、世界の名だたる作曲家へ新作委嘱を行っている。

## Trio Sync.

2011年2月、二人のバストロンボーン奏者、NHK交響楽団の黒金寛行、読売日本交響楽団の篠崎卓美は共に福島県いわき市の出身だったことから、「一度きり」のつもりで演奏会を地元で開催する。しかし、翌月3月にあの東日本大震災が故郷を襲った。一度きりだったこのトリオは故郷の為、震災翌月から数回に渡るチャリティーコンサートを開始。さらに、制作したチャリティー CD「Under the Blue Sky」は異色の編成ながら異例の大ヒット。その後、当初より活動を共にしていたピアニスト城綾乃と共に「Trio Sync.」として、新たに活動を開始。東京、大阪、名古屋でのコンサートや毎年3月に故郷いわきでの演奏会、そして「いわきトロンボーンキャンプ」と称したイベントを開催し、後進の指導、音楽の楽しさを伝える活動も精力的に行っている。2020年には2枚目のCD「Trio Sync.」をリリース。この編成のために書かれた作品も出版し、好評を博している。二本のバストロンボーンとピアノという一風変わったトリオではあるが新作の委嘱、アレンジなど、レパートリーも広く、三人のシンクろするアンサンブルは高い評価を得ている。

## 黒金 寛行

バストロンボーン | NHK交響楽団

NHK交響楽団バストロンボーン奏者。福島県いわき市出身。東京藝術大学を首席卒業。学内において安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。在学中よりN響アカデミーにて研鑽を積み、第4回済州国際金管楽器コンクール(韓国)バストロンボーン部門第一位、及び全部門におけるグランプリ受賞。第23回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門第一位。ソリストとして東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、藝大フィルハーモニアや全国の吹奏楽団と協演。また、旧東京音楽学校奏楽堂、いわき市芸術文化交流館アリオス、JTアートホールアフィニスなどでリサイタルを行うなど、ソロ活動も精力的に行う。近年ではハンガリートロンボーンブートキャンプやイタリアンプラスウィークなど、国際的なイベントにも招かれている。故・秋山鴻市、古賀慎治、シュテファン・シュルツの各氏に師事。

## 城 綾乃

ピアノ | 東京藝術大学 伴奏助手

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。JPTA第20回ピアノオーディション合格、入賞者演奏会に出演。第7回シヨパン国際ピアノコンクールin Asia 一般部門第1位。第5回安川加壽子記念ピアノコンクール入賞。平成19年度公共ホール活性化事業フォーラムアーティスト。ソリストとしてこれまでに藝大フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、センチュリーユースオーケストラ、神戸大学交響楽団、新宿交響楽団等と共演。タング・ジャズユニット「Trymulty(トリムルティ)」、バストロンボーンとのトリオ「Trio Sync.(トリオシンク)」各メンバー。国内外で活動する音楽家の伴奏ピアニストや舞台俳優のライブサポート、EXILE TOUR 2015 AMAZING WORLDに出演するなど、ジャンル問わず多岐に渡り活動している。東京藝術大学音楽学部非常勤講師(演奏研究員)。

## 篠崎 卓美

バストロンボーン | 読売日本交響楽団

読売日本交響楽団バストロンボーン奏者。福島県いわき市出身。東京コンセルヴァトアール尚美専門コース卒業。ネバダ州立大学ラスベガス校音楽学部留学。松本照、石川浩、ジェフリー・レイノルズの各氏に師事。東京文化会館新進音楽家オーディション合格。第20回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門にてバストロンボーン奏者として初の一位を受賞。アジアフィル、サイトウキネンオーケストラなど、他多数のオーケストラに参加。これまでにソリストとして大阪市音楽団、東京交響楽団と協演のほか、東京、大阪でのリサイタルなど、ソロ活動も行っている。韓国で行われる済州国際プラスコンペティションの審査員として2014年より招聘されている。また、2023年には韓国トロンボーンシンポジウムにてマスタークラスとリサイタルを行うなど国際的な活動も行っている。シエナ・ウィンド・オーケストラ、大阪市音楽団を経て現職。洗足学園音楽大学非常勤講師。Trio Sync.、読売日本交響楽団トロンボーンカルテット、Bachbone Japan、なぎさブラスソリスト各メンバー。